

市民への啓発・情報提供

1 市民に対して啓発すべき事項の主な例（懇談会での意見より）

○在宅療養について

- ・訪問看護や訪問介護を使うことで在宅療養も可能であること
- ・在宅医療にかかる費用や、入院でかかる費用について
- ・高齢になると肺炎を繰り返すことが増えること、病院に行かないという選択肢もあること（徐々に機能が悪化していくこととその状態を受容すること、これで治療しても劇的に改善はしないということ）
- ・急変時対応についての知識や、救急車を呼ぶ必要性の判断について
- ・お薬手帳に、死生観や在宅療養等についての啓発的な内容を加えたらどうか

○在宅看取り、最期の迎え方について

- ・訪問看護や訪問介護を使うことで在宅看取りも可能であること
- ・自分の最期の迎え方について（蘇生処置を受けるかどうか等）考える機会や家族と話をする機会をもつこと、事前の意思確認
- ・家で看るということについて、学校教育や若い世代への啓発のあり方も考える必要があるのではないか。20年後に担い手になっている方へのアプローチ

○医療機能やかかりつけ医機能について

- ・大病院志向の方がいる実態に対して、大規模病院で定期的にフォローする場合でも、かかりつけ医と一緒にフォローすること
- ・入院継続を望む患者・家族がいる実態に対して、かかりつけ医機能や地域完結型医療の必要性について

2 市民啓発についての取組み

前項の主な例を参考に、市において市民啓発についての取組みを実施。

(1)平成 29 年度地域医療推進に関するシンポジウムの開催(案)

○目的 病床の機能分化と連携を踏まえた適切な受診行動の推奨や、かかりつけ医等の定着促進、及び在宅医療の現状理解や意識の向上など、地域医療全般の推進を目的として、様々な立場からの発言を聴き、市民が医療との関わり方や、地域医療の在り方等について主体的に考えることができるよう、基調講演とシンポジウム形式による市民啓発を行うものです。

○対象 市民 200 名程度(先着順)

○日程 平成 30 年 1 月下旬から 2 月上旬頃
土曜日の午後

○内容 ・基調講演

テーマ「(仮)大病院と診療所の役割の違いを知り、かかりつけ医を持つ」

講演時間 45 分

講演者 調整中

・シンポジウム(案)パネルディスカッション

テーマ①「(仮)医療機関の機能分化と連携を理解し、上手に医療にかかる」

②「(仮)在宅療養を支える医療体制について」

時間 75 分

コーディネーター(予定):1 名 吹田保健所

パネリスト(予定):5 名 吹田市医師会、国立循環器病研究センター、
吹田市民病院、協和会病院、訪問看護事業所

(2)出前講座の実施

かかりつけ医等を持つことのメリットや、診療所と病院の役割分担と連携などを踏まえた上手なお医者さんのかかり方について、また、在宅療養が必要となった場合にも、在宅医療という選択肢があるということ等について

(3)ホームページ・市報等での情報提供

かかりつけ医等を持つことのメリットや、診療所と病院の役割分担と連携などを踏まえた上手なお医者さんのかかり方等について

3 各団体の取組み状況について(p3～p7)

各団体において、現状でどのような取組をされているか等について、ご報告いただきます。

在宅医療等に係る市民啓発の取組み

団体名：吹田市歯科医師会

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
地域医療部	出前講演	青山台地域にお住いの市民	口腔機能向上について 講師 吹田市歯科医師会 岩住 征紀	11人	H28.6.16
地域医療部	出前講演	藤白台地域にお住まいの市民	口腔機能向上について 講師 吹田市歯科医師会 丹羽 崇	15人	H28.6.23
地域医療部	出前講演	桃山台・竹見台地域にお住まいの市民	口腔機能向上について 講師 吹田市歯科医師会 三木 秀治	52人	H28.10.15
地域医療部	出前講演	津雲台・高野台地域にお住まいの市民	口腔機能向上について 講師 吹田市歯科医師会 中村 卓	75人	H28.11.16

【平成29年度の実施予定】

平成29年度も継続して、出前講演の実施を予定。

在宅医療等に係る市民啓発の取組み

団体名：吹田市薬剤師会

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
	出前講座	市民	薬の基礎知識、高齢者のくすり、在宅訪問について	19人	H28.9.25

【平成29年度の実施予定】

--

在宅医療等に係る市民啓発の取組み

団体名：市立吹田市民病院

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
地域連携室	市民公開講座	地域の住民	「未病」栄養士と消化器医師の講演 「吹田市民病院の整形外科」講演 年2回開催しているが病気についての講演が主で在宅療養の内容ではなかった	120人 72人	H28.8.2 H29.1.28

【平成29年度の実施予定】

29年度も2回開催予定としており内容は病気についての講演

在宅医療等に係る市民啓発の取組み

団体名： 済生会千里病院

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
事務部	南千里地区公民館 公開講座(共催)	南千里地区住民	市民公開講座 「在宅医療と訪問看護について」 講師:済生会千里病院 訪問看護ステーション 所長	15人	H29.2.3

【平成29年度の実施予定】

2017.6.10 北千里地区公民館 市民健康講座にて「在宅医療と訪問看護について」講演予定
--

在宅医療等に係る市民啓発の取組み

団体名： 済生会吹田病院

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	体験内容	参加人数	開催日
総務課	参加型市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	血圧管理でいきいき長寿 講師：循環器内科 石神医師	血圧測定 ABI測定	48人	H28.6.2
総務課	市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	不眠症について 講師：精神神経科 戸川医師		48人	H29.6.22
総務課	参加型市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	誤嚥・窒息を予防しよう 講師：嚥下ワーキンググループ	嚥下食の試食	34人	H28.8.5
総務課	参加型市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	ロコモ予防と転倒予防 ～いつまでも自分の足で歩き続けていくために～ 講師：整形外科 藤井医師 転倒・転落ワーキンググループ	体力測定 転倒予防体操	54人	H28.11.26
総務課	参加型市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	「肺は教えてくれない？」 ～気づかずススム肺の病気～ 講師：呼吸器外科 西村医師	呼吸リハ	39人	H28.12.10
総務課	参加型市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	肝臓・胆道・膵臓の腫瘍(がん)について 講師：消化器・乳腺外科 寒原医師	腹部超音波検査	37人	H29.1.28
総務課	参加型市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	認知症を学びませんか？～認知症の基礎知識について～ 講師：認知症看護認定 今村看護師	認知症予防体操	44人	H29.2.24
総務課	参加型市民健康講座	吹田市を中心とした市民対象	脂肪肝 講師：消化器内科 島医師	フィブロスキャン (肝脂肪の有無、程度を測定)	35人	H29.3.25

【平成29年度の実施予定】

今年度の開催数は8回を予定している。サービスなどの受け方を寸劇を用いて行ったり、講演によっては、参加者も体験できる講座も開催いたします。
急性期病院との付き合い方、在宅医療に関して理解を深めて頂くことを目的として、市民参加型の公開講座を企画している。実施場所は、当院会議室。